

アンダーアーマー、プロ野球独立リーグ「四国アイランドリーグplus」と 2年間のオフィシャルパートナー契約を締結

<http://www.underarmour.co.jp/news/information/20170220-2.php>



アンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドーム(本社：東京都江東区 代表取締役 CEO：安田 秀一)はこのほど、プロ野球独立リーグの四国アイランドリーグplus (運営：株式会社IBLJ 本社：香川県高松市 代表取締役：森本 美行) とオフィシャルパートナー契約を締結しました。株式会社ドームがスポーツリーグと包括契約を結ぶのは初めてのことで、四国アイランドリーグplusとともに、スポーツ文化を醸成すべく努めていきます。

契約期間は2017年～18年の2年間。「野球を通じて四国を元気にする」ことを目指した取り組みで、四国アイランドリーグplusに所属する4球団 (徳島インディゴソックス、香川オリブガイナーズ、愛媛マンダリンパイレーツ、高知ファイティングドッグス) に、アンダーアーマー製ユニホームや公式球など物品を提供する他、各球団の公式ライセンス商品も販売していきます。

さらに、四国アイランドリーグplusが掲げる「地域活性化」「野球の底辺拡大」「人材育成」とともに実現していくため、観客動員を増やし、リーグや球団の事業規模が拡大していくための取り組みを行います。株式会社ドームは、アンダーアーマーブランドで2015年からオフィシャルパートナー契約を結んでいる読売ジャイアンツとの取り組みや、関連会社が運営するサッカーのいわきFC (福島県1部リーグ) の活動を通じて得た知見を、四国アイランドリーグplusとの取り組みにも活かしてまいります。

■ 四国アイランドリーグplus

2005年、日本で初めてのプロ野球独立リーグとして誕生。徳島インディゴソックス、香川オリーブガイナーズ、愛媛マンダリンパイレーツ、高知ファイティングドッグスの4球団が四国4県に本拠を置き、リーグ戦を行っている。当初は「四国アイランドリーグ」の名称だったが、福岡県や長崎県、三重県の球団が加入、離脱するなどして2011年に現名称に変更。優勝チームは、東日本のBCリーグの優勝チームとグランドチャンピオンシップを行っている。リーグ創設以来12年間で約700選手がプレーし、60選手が日本野球機構（NPB）のプロ球団や海外リーグに進んでいる。

<http://www.iblj.co.jp/>

■ UNDER ARMOUR (アンダーアーマー)

「アスリートを進化させる」ことをミッションに掲げる“パフォーマンスアスレチックブランド”。近年急速に普及した、身体にフィット（密着）するアスリートのためのウェアの発祥ブランドであり、汗を素早く吸収、発散、身体を常にドライで快適に保つウェアなど、アスリートのパフォーマンスを最大限に引き出す商品開発に取り組んでいる。米国本社での売上高は2010年10億ドル、2015年36億ドルと伸び続け、時価総額は160億ドルを突破。1996年の創業以来、驚異的な成長を続けている。日本においても、読売ジャイアンツ（プロ野球）、大宮アルディージャ（サッカー）、琉球ゴールデンキングス（バスケットボール）、パナソニック ワイルドナイツ（ラグビー）などのユニホームサプライヤーとなっている他、野球の柳田悠岐選手（福岡ソフトバンクホークス）、ラグビーの山田章仁選手（パナソニック ワイルドナイツ）、サッカーの宇津木瑠美選手（シアトル レイン）、モデルのKellyさんら、多くのトップアスリートやモデルのパフォーマンスを支えている。



■ 株式会社ドーム

1996年創業。テーピングの取扱いからスタートし、現在はスポーツプロダクト（アンダーアーマー）やスポーツサプリメント（DNS）、パフォーマンスディレクション（ドームアスリートハウス）などの事業を展開。「スポーツを通じて社会を豊かにする」、「社会価値の創造」という理念のもと、豊かな社会作りに貢献することを目指す。

